

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期
1	布マスク配布事業	①新型コロナウイルス感染症予防対策として、感染による重症化リスクが高い妊婦・人工透析者・在宅酸素療養者に対し布マスクを配布する。 ②消耗品費 ③@400円×1,000枚=400,000円 ④町内在住の妊婦、人工透析者、在宅酸素療養者	400,000	390,000				10,000	町内の妊婦、在宅酸素療養者等に対して、普通サイズのマスクを500枚、小さめサイズのマスクを500枚配布した。	感染による重症化リスクの高い妊婦、在宅酸素療養者等に対し、感染効果の高い布マスクを早期に配布することが出来た。	R2.4	R3.3
2	山辺町緊急経営改善支援金	①町内の商工業者への経営維持支援 ②支援金 ③281事業所×100千円=28,100千円。賃貸店舗等有りの場合42事業所(上限100千円を上乗せ)=3,746千円。合計31,846千円 ④商工業を営む事業主	31,845,000	31,150,000		16,800		678,200	町内事業者281社へ給付し、経営改善、維持を支援した。	町内事業者の経営環境改善、事業継続が図られた。	R2.5	R2.9
3	山辺町プレミアム付商品券事業	①家計の負担緩和と地域における消費を喚起・下支えするため ②商品券の事業費・事務費 ③事業費は(5,000円×9,540セット=47,700千円)+(町負担プレミアム分1セット1,000円×9,466枚=9,466千円)+(事務費発行総額60,000千円×2%=1,200千円)=計58,366千円。 町負担額としては、町プレミアム分及び事務費10,666千円。 ④町内事業者(商工会会員)、町民及び町内勤務者	10,666,000	10,400,000				266,000	販売額57,240千円、換金額57,166千円、参加店舗:95店舗	低迷する消費喚起と地域経済の活性化が図られた。	R2.5	R2.9
4	山辺町ふるさと応援寄付記念品開発事業費緊急補助事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済の低迷が懸念される中、ふるさと応援寄付の記念品開発に取り組む事業者に対し、開発に必要な経費の一部を補助し、地域経済の活性化、地場産業の継続的な振興を図る。 ②山辺町ふるさと寄附記念品開発事業費緊急補助金 ③(1)新記念品開発事業 上限2,000千円×4事業者 (2)パッケージ事業 上限500千円×4事業者 ④町内事業者	9,909,506	9,680,000				229,506	ふるさと応援寄付の記念品開発に取り組む事業者14者に対し、開発に必要な経費の一部を補助した。	ふるさと応援寄付記念品として、特産品等の開発が行われ、地域の活性化や地場産業の振興に寄与することができた。	R2.5	R3.3
5	山辺町ホームページバナー広告無料掲載	①町内事業所の情報発信を支援するため ②バナー広告掲載に係るホームページ更新費用 ③@10,000円×2枠×1.1=22,000円 ④町内事業所	22,000	20,000				2,000	●町内事業所を対象に、3カ月間実施(減免) 申込期間:R2.6.1~R2.12.10 ※広報紙(6/1号)、HPで周知 実績:2事業所・山辺観光タクシー(R2.7.1~R2.9.30) ・渋谷クリーニング(R2.8.1~R2.10.31)	山辺町ホームページに無料広告掲載枠を設け、新型コロナウイルスにより影響を受ける町内事業所2社に対して、情報発信の支援を行った。	R2.6	R2.12
6	書籍消毒器購入設置	①- ②- ③書籍消毒器の設置・点検85.6円 ④図書室利用者	855,800	830,000				25,800	図書室利用者の感染予防対策として、書籍消毒器1台を設置した。	書籍の消毒を簡易にし、感染拡大防止に寄与した。	R2.6	R2.8
7	避難所運営衛生対策事業	①災害時における避難所開設に伴い、密接状態等の回避と流行性感染症対策を行い、感染拡大防止に努める。 ②住み分けを行うための屋内用テント及び簡易ベッドの設置。避難所出入りに伴う屋外用テント、電子検温器の配備。感染予防の衛生対応としてサージカルマスク及び消毒薬等の配備。以上の備蓄対応。 ③屋内用テント6基×避難所18箇所×10,560円+簡易ベッド12基×避難所18箇所×8,140円+屋外用テント3基×249,000円+電子検温器3台×避難所18箇所×7,700円+消毒液12箱(500ml12本/箱)×40,700円+手指消毒剤180本×3,080円+サージカルマスク(避難収容人数2,969人×7日×22円)+その他消耗品=5,906,000円 ④-	5,776,980	5,750,000				26,980	避難所に感染症予防対策物品として、次の物品を配備した。 ・避難所感染症対策用屋内テント2人用 *108張り ・避難所感染症対策用目隠しシート *108張り分 ・避難所感染症対策用避難ベッド *216台 ・避難所感染症対策用非接触体温計 *54台 ・避難所感染症対策用手指消毒剤 *180本 ・避難所感染症対策用不織布マスク *一般用19,200枚、子ども用1,800枚 ・避難所感染症対策用消毒剤 *1箱12本-12箱144本 ・避難所感染症対策用消毒剤 *20本 ・避難所感染症対策用不織布マスク *4,700枚 ・避難所感染症対策用フェイスガード *360枚 ・避難所感染症対策用防護用ガウン *90着 ・避難所感染症対策用防護用手袋 *180枚 ・避難所感染症対策用ワンタッチテント *3基、ウェイト18個	避難所感染症対策物品を配備し、感染拡大防止に寄与した。	R2.6	R3.3
8	子育て世帯への臨時特別給付金(国給付への上乗せ分及び対象者拡大分)	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、4月1日現在の0歳~18歳以下の子どもがいる世帯に対し、給付金を支給する。 ②給付金、通信運搬費、銀行口座振込手数料 ③【給付金】20,360千円(0歳~18歳 2,036人×10,000円) ③【通信運搬費】42千円(561通 41,206円) ③【銀行口座振込手数料】105千円(935件 104,390円) ④4月1日現在の0歳~18歳以下の子どもがいる世帯	20,506,286	20,000,000				506,286	新型コロナ感染症の影響を受けている子育て世帯(4月1日現在の0~18歳以下の子どもがいる世帯)1292世帯、対象児童2,036人に一人あたり10,000円を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活支援に寄与した。	R2.6	R2.12

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期
9	農産物販路確保支援事業	①農産物販路確保による買取支援を行う。 ②農産物の購入経費 ③購入価格 【さくらんぼ購入】3,402千円 ア. 学校給食・幼稚園保育園給食に提供 2,169千円 ・佐藤錦 バラ詰め 176kg・667千円 ・佐藤錦 手詰め 44kg・528千円 ・紅秀峰 バラ詰め 205kg・974千円 イ. 山辺温泉回数券購入者への「さくらんぼ」の配布 ・佐藤錦 バラ詰め230g 1,215個(280kg)・1,178千円 ウ. 友好都市日立市、東京顕微鏡院(町出身者創設、教育事業交流)関係へのPR配布 ・佐藤錦 バラ詰め 8kg・54,100円 ④町内農業者	3,401,084	3,300,000				101,084	【さくらんぼ購入】 ア. 学校給食及び幼稚園や保育園の給食に提供 ・実施時期: R2.6.22～R2.7.9 ・提供実績: 各給食に佐藤錦と紅秀峰を1回ずつ提供 ・提供数量: 381kg イ. 山辺温泉回数券購入者への「さくらんぼ」の配布 ・実施時期: R2.6.13～R2.7.10 ・提供実績: 230gのフードバック1,215件 ・提供数量: 279.45kg ウ. 友好都市日立市、東京顕微鏡院へのPR配布 ・提供時期: R2.6.24 ・提供実績: 8セット/kg ・提供数量: 8kg その他. 学校へのものづくりの紹介 ・提供時期: R2.6 ・提供実績: 4校に44セット ・提供数量: 44kg	コロナ禍による社会活動の停滞によって、贈答品としての出荷数量の減少が見込まれる中、学校給食等への提供や友好都市へのPR配布を行うことで、出荷先の確保対策だけでなく、営農活動を継続するための支援としても効果を発揮した。 また、山辺温泉利用者に高品質なさくらんぼをプレゼントすることで、リピーターの獲得や農産物のPRが図られ、コロナ過での販売額減少対策の一環としても機能した。	R2.6	R2.7
10	インドア花いっぱい応援事業	①— ②— ③購入価格(公共施設等に提供) 花き(りんどう・われもこう等品種多数)約5,300本・1,300,000円 ④町内花卉農業者	1,174,400	1,120,000				54,400	【花卉購入】 ・購入時期: R2.6～R3.2 ・購入実績: 5,255本 ・配布場所: 公共施設15箇所	町内の公共施設に町内産の花を装飾することで、コロナ過による出荷の減少を補うとともに、町内産の高品質な花卉のPRや施設利用者の満足度向上に寄与した。	R2.6	R3.3
11	ふるさと応援寄付協力事業者支援事業	①町特産品であるさくらんぼを友好都市市民へ配布(新型コロナウイルスの困難を共に乗り越えるための絆を深めるプレゼント企画)することにより、町ふるさと応援寄付への協力事業者である農業者の支援を図る。 ②さくらんぼ500グラム390箱の購入費、送料等 ③390箱×3,500円=1,365,000円 ④町内農業者	1,364,000	1,300,000				64,000	新型コロナウイルス感染拡大により、経済的な影響を受けることが懸念される町ふるさと応援寄付への協力事業者である農業者からさくらんぼを購入し、友好都市日立市民390名へプレゼントした。	町ふるさと応援寄付への協力事業者である農業者の支援につながった。	R2.6	R2.9
12	「新型コロナウイルス対策宣言」応援事業	①飲食店等での新型コロナ感染防止取組みを明示する ②木製プレート製作費 ③220円×40事業所 ④町内の飲食店等	8,800	7,000				1,800	町内飲食店等40事業所において感染拡大防止の取組みを表示した	感染防止対策宣言店における飲食時等の安全・安心な取組みを後押しし、事業継続を支援した。	R2.7	R2.7
13	テイクアウト情報サイト掲載等委託料	①町内の飲食店の情報サイト掲載等 ②委託料 ③440千円×1 ④町内の飲食店等	440,000	430,000				10,000	町内対象店舗におけるテイクアウトや宅配に係る情報を、webサイトや月刊情報誌等の3媒体を活用して情報発信した。	営業自粛や外食自粛ムードによる影響を受ける店舗における事業継続を支援した。	R2.6	R2.7
14	タクシー事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内のタクシー事業者に支援を行う。(法人・個人事業者問わず、令和2年4月の売上が前年同月比の5割以上減少している事業者) ②支援金1事業者に対し一律10万円に、登録車両1台につき1万円を加算(上限15万円) ③支援金6事業者×10万円+加算分10万円=70万円 ④町内タクシー事業者	700,000	680,000				20,000	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内交通事業者に給付金を給付した。 申請件数: 6件 給付金額: 700,000円	全ての対象事業者より申請を受け、給付金を通して支援したことにより、事業継続に寄与することができた。	R2.6	R2.7
15	学生等生活支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な影響を受けている町ゆかりの学生等への支援を行い、町との結びつきを確保し将来的な回帰へつなげる。 ②◆1回目送付(7月下旬): クオカード(3,000円)+山辺産マスク ◆2回目送付(11月): 舞米豚セット+山辺産新米つや姫5kg ほか、メッセージ用紙、はがき代、発送手数料等の経費 ③・1回目: 87名×5,255円=457,185円 ・2回目: 104名×7,250円=754,000円(※食の支援に対する県補助: 104名×4,000円×1/2=208,000円) ・はがき代、郵送料、トナー代等の経費 61,674円 合計 1,272,859円 ④令和2年4月1日時点で町内に住所を有する保護者等があり、山形県外に居住し、県外の大学・大学院・短期大学・専門学校・予備校等に在学している30歳未満の方。	1,272,859	1,010,000		208,000		54,859	新型コロナウイルス感染症により、経済的影響を受けている町ゆかりの学生等に対して、町特産品の送付を行った。 ・申請件数 第1弾87人、第2弾104 ・町特産品(第1弾: クオカード3,000円分、山辺産マスク、第2弾: 山辺産新米5kg、山辺産豚肉加工品)	申請者に対しアンケートを実施した結果、事業の有効性について高い評価を得たことから、効果的に生活支援等を行うことができた。	R2.7	R3.2
16	観光果樹園等安全対策推進事業	①観光果樹園、産地直売所、観光案内所など県外からの誘客が想定される施設等に、体表面温度測定器を購入し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び安全対策を強化を図る。 ②体表面温度測定器5台 ③205,700円×5台=1,028,500円(県補助1/2) ④観光果樹園、産地直売所、観光案内所、イベント等に貸し出し	1,028,500	500,000		514,000		14,500	【体表面温度測定器の購入】 ・購入実績: 5台 ・貸与箇所: 5箇所	農業関連施設の利用者やイベント参加者同士でのコロナ感染やクラスターの発生を防止した。	R2.7	R2.10

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期
17	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を購入する。 ②保健衛生用品 ③非接触型体温計7,700円×6台、消毒液7,560円×15缶、ハンドソープ9,900円×10箱、グローブ(200枚入り)1,540円×30箱、グローブ(250枚入り)1,760円×12箱、不織布マスク1,320円×40箱 計378,720円 ④町立小中学校5校	378,720	180,000	189,000			9,720	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、保健衛生用品等を整備した。	学校再開等における感染予防及び拡大防止に寄与した。	R2.7	R2.10
18	町営住宅家賃補助事業		0	0				0	実績なし	実績なし	-	-
19	山辺町雇用調整助成金申請代行補助事業	①新型コロナの影響を受けた事業者の雇用を維持するため ②補助金 ③上限40万円×10件(県補助1/2有り) ④町内の事業主	1,841,000	900,000		920,000		21,000	町内10事業所における、雇用調整助成金等の支給申請に係る事務手数料の一部を補助した。	雇用の継続と安定が図られた。	R2.8	R3.3
20	山辺町オンライン化促進支援補助事業	①新型コロナ対策として職場環境の改善に取り組む事業者 ②助成金 ③実績20件。県(1/3)4,274千円。町(1/3)4,275千円。県より事務費1,000円×20件=20,000円 ④町内の小規模事業者等	8,549,000	4,130,000		4,294,000		125,000	在宅勤務やweb商談等のテレワーク環境の整備に係る取り組みを支援した。	テレワーク環境の整備により非対面スタイルによる事業継続が促進された。	R2.8	R3.2
21	山辺町事業継承・雇用継続奨励補助事業		0	0				0	実績なし	実績なし	-	-
22	山辺町新・生活様式対応支援補助事業	①新型コロナからの経済回復に向け、新しい生活様式への対応を目的に、新たな取組みを後押しする ②補助金 ③実績142件。県(1/2)12,747千円。町(1/2)12,747千円。県より事務費1,000円×127件分=127,000円 ④小規模事業者等	25,445,000	12,290,000		12,849,000		306,000	各事業者における新しい生活様式へ対応するための機器類(空気清浄機、衛生用品等)の導入支援を行った。	小規模事業者における新しい生活様式への取組みを支援し、コロナ禍からの経済回復を促した。	R2.8	R3.2
23	臨時休業時間所支援事業(放課後児童クラブ)	①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校臨時休校についても、放課後児童クラブを開所したことに対する支援。 ②委託費 ③【委託費】672千円 ④放課後児童クラブ(3単位)へ小学校臨時休校期間4/11～5/10までの16日間分。	672,000	650,000				22,000	新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業に対応して開所した放課後児童クラブに対する支援として町内の2クラブに対し、672,000円を支給した。	新型コロナウイルス感染症に伴う小学校の臨時休業に対応して開所した放課後児童クラブへの支援に寄与した。	R2.4	R2.5
24	山辺町プレミアム付商品券事業	①家計の負担緩和と地域における消費を喚起・下支えするため ②商品券の事業費・事務費 ③事業費は1000円の商品券を4枚、500円の商品券を7枚で1セットとし5000円で、10,000セット販売。町負担はプレミアム分の2,500円×10000セット=25,000千円。事務費の75,000千円×2%=1,500千円。計26,500千円。 町負担額としては、町プレミアム分及び事務費26,500千円。 ④町内事業者(商工会会員)	26,162,513	25,580,000				582,513	販売額75,000千円、換金額74,883千円、参加店舗:100店舗	低迷する消費喚起と地域経済の活性化が図られた。	R2.9	R3.2
25	公の施設に係る指定管理者への経営持続化支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町からの公の施設の休止要請等に応じたことにより、著しく経営が悪化した指定管理者に対して、経営の持続化に資するための支援金を給付する。 ②支援金 ③山辺温泉保養センター2,000千円、山辺町中央公園及び体育施設400千円 合計2,400千円(上限2,000千円) ④公の施設に係る指定管理者	2,400,000	2,320,000				80,000	感染予防対策として、町からの休止要請等に応じた山辺温泉保養センターの指定管理者と山辺町中央公園及び体育施設の指定管理者に支援金を支給した。	各施設を休館し、感染拡大防止に寄与した。	R2.9	R2.10
26	学校給食関連事業者等への応援事業	①4月に学校臨時休業により影響を受けた委託加工業者が学校再開後も事業を継続できるように、補助金を交付する。 ②学校臨時休校時に給食提供できなかったことによる委託加工業者の損失分、材料費、燃料費を除く加工賃(主に人件費) ③パン、米飯、麺、牛乳の4月に提供する予定の食数に、それぞれの、積算による単価を乗じた額 パン@31.46×3,054=96,078円、米飯@31.17×9,866=307,523円、ゆで中華麺@37.03×1,251=46,324円、牛乳@21.52×14,186=305,282円 計755,207円 ④山形県学校給食会	755,207	730,000				25,207	4月に学校臨時休業により影響を受けた委託加工業者2社に計755,207円の補助金を交付した。	補助金を交付することにより、資金の安定を図り、学校再開後の事業の継続に寄与した。	R2.4	R2.11

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期
27	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	①1人1台端末の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、GIGA スクール構想の整備を加速し、学校の臨時休校等においてもICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境の整備 ②実施設計・工事監理委託、情報通信ネットワーク環境整備工事 ③実施設計・工事監理委託料 4,620,000円 校内LAN・電源キャビネット整備 40,953,000円 計45,573,000円 全体事業費45,573,000円-交付決定額17,050,000円-補助裏17,050,000円 =地方単独分11,473,000円 ④-	45,573,000	11,190,000	17,031,000		15,200,000	2,152,000	GIGA スクール構想の推進に伴う、学校施設内のICT環境整備のため、町内小中学校の情報通信ネットワーク環境整備として校内LAN及び電源キャビネットを整備した。	GIGA スクール構想の推進に伴う、子どもたちの学びを保障できる校舎内ICT環境の整備に寄与した。	R2.10	R3.3
28	公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①1人1台端末の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、GIGA スクール構想の整備を加速し、学校の臨時休校等においてもICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境の整備 ②情報通信機器の購入 ③遠隔学習用ヘッドマイク3,058円×25台=76,450円 ④-	76,450	30,000	38,000			8,450	遠隔学習を実施するために必要な教師用ヘッドマイク25台を整備した。	GIGA スクール構想の推進に伴う、緊急時等の遠隔学習を可能し、子どもたちの学びを保障できる環境の整備に寄与した。	R2.12	R3.1
29	児童生徒用端末購入事業	①1人1台端末の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、GIGA スクール構想の整備を加速し、学校の臨時休校等においてもICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境の整備 ②情報通信機器の購入 ③児童生徒用タブレット44,935円×1,133台=50,911,355円 ※うち3人に1台分(44,935円×378台=16,985,430円)を地方単独事業で実施。 ④-	50,911,355	16,985,000	33,925,000			1,355	GIGA スクール構想の推進として、児童生徒用タブレット1,133台の内378台を整備した。	GIGA スクール構想の推進に伴う、子どもたちの学びを保障できるICT環境の整備に寄与した。	R2.11	R3.5
30	家庭学習のための通信機器整備支援事業	①1人1台端末の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、GIGA スクール構想の整備を加速し、学校の臨時休校等においてもICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境の整備 ②情報通信機器の購入 ③LTE通信機器 14,080円×30人=422,400円 ※国からの補助10,000円/人への上乗せ分(4,080円×30人=122,400円)を地方単独事業で実施。 ④-	422,400	110,000	300,000			12,400	ICT環境が整っていない家庭において、遠隔学習に使用するLTE通信機30台を整備した。	GIGA スクール構想の推進に伴う、緊急時等の遠隔学習を可能し、子どもたちの学びを保障できる環境の整備に寄与した。	R2.12	R3.1
31	教師用端末購入事業	①1人1台端末の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、GIGA スクール構想の整備を加速し、学校の臨時休校等においてもICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境の整備 ②情報通信機器の購入 ③教師用タブレット44,935円×50台=2,246,750円 ④-	2,246,750	2,246,000				750	GIGA スクール構想の推進として、教師用タブレット50台を整備した。	GIGA スクール構想の推進に伴う、子どもたちの学びを保障できるICT環境の整備に寄与した。	R2.12	R3.5
32	農産物販路確保支援事業	①農産物販路確保による買取支援を行う。 ②農産物の購入経費 ③購入価格 【りんご・ラフランス・米の購入】3,086千円 ア. 学校給食に提供 381千円 りんごゼリー 1,300個・222千円 ラフランスゼリー 1,300個・159千円 イ. 幼稚園保育園給食に提供 286千円 ・りんご 620個・152千円 ・ラフランス 620個・134千円 ウ. 山辺温泉回数券購入者への配布 2,180千円 ・りんごセット 966袋・869千円 ・ラフランスセット 368袋・331千円 ・農産物セット 900袋・981千円 エ. 納税口座振替新規申込者 ・米 2kg・200袋×1,188円=238千円 ④町内農業者	3,005,532	2,910,000				95,532	【りんご、ラフランス・米の購入】 ア. 学校給食に提供 ・提供時期: R2.11.11～R2.12.9 ・提供実績: ラフランスゼリー 1,300個 りんごゼリー 1,300個 イ. 幼稚園、保育園の給食に提供 ・提供時期: R2.11.11～R2.12.9 ・提供実績: りんご (2回) 計1,240個 ラフランス(2回) 計1,240個 ウ. 山辺温泉回数券購入者への配布 ・提供時期: R2.11.21～R3.3.11 ・提供実績: ラフランス入農産物セット 368袋 りんご入農産物セット 966袋 野菜入農産物セット 1,000袋 エ. 納税口座振替新規申込者 ・提供時期: R2.11.11～ ・提供実績: つや姫(2Kg)×200袋	コロナ禍による社会活動の停滞によって、贈答品としての出荷数量の減少が見込まれる中、学校給食等への提供やPR配布を行うことで、出荷先の確保対策だけでなく、営農活動を継続するための支援としても効果を発揮した。 また、山辺温泉利用者に高品質な果樹や野菜セットをプレゼントすることで、リピーターの獲得や農産物のPRが図られ、コロナ過での販売額減少対策の一環としても機能した。	R2.11	R3.3
33	米生産者支援事業		0	0				0	実績なし	実績なし	-	-

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期
34	公共的空間安全・安心確保 事業	①・施設等における新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、網戸を設置し換気を図る。 ・議会開催時における新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、デジタル化を伴う音響及び映像配信設備の更新を行い、別室での遠隔傍聴を実施する。 ・選挙時における新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、投票記載台を増設し、密接空間等の防止を図る。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、窓口カウンター等にアクリルパーテーションの設置を図る。 ②・山辺町役場庁舎1階事務室への網戸設置費(1式) ・議会本会議場における音響及び映像配信設備の購入費(1式) ・投票所における投票記載台の購入費(10台) ・アクリルパーテーションの購入費(30枚) ③・網戸設置(1式) 1,100,000円 ・議会本会議場音響及び映像配信設備(1式)8,745,000円 ・投票記載台購入 10台×45,000円×1.1=495,000円 ・アクリルパーテーション購入 7,000円×30枚×1.1=231,000円 合計10,571,000円 ④山辺町役場庁舎、本会議場、町内各投票所	10,571,000	10,300,000				271,000	・役場庁舎一階事務室に感染拡大防止を図るため、網戸を設置した ・本会議場に感染拡大防止を図るため、音響及び映像配信設備一式を設置した。 ・選挙時における感染拡大防止を図るため、投票記載台を増設した。 ・役場庁舎窓口カウンター等に感染拡大防止を図るため、アクリルパーテーションを設置した。	役場庁舎及び本会議場等の環境を改善し、感染拡大防止に寄与した。	R2.9	R3.3
35	避難所運営衛生対策空調機 器購入事業	①災害時における避難所開設に伴い、流行性感染症対策として密閉空間の回避等を行い、感染拡大防止及び熱中症対策等を行う。 ②感染拡大防止及び熱中症対策のためのスポットクーラー、大型扇風機の配備。以上の備蓄対応。 ③スポットクーラー70,000円×12台、大型扇風機7,260円×20台 計 985,200円 ④-	931,700	901,000				30,700	避難所に感染症予防対策物品として、次の物品を配備した。 ・避難所感染症対策用スポットクーラー * 12台 ・避難所感染症対策用大型扇風機 * 20台	避難所感染症対策物品を配備し、感染拡大防止に寄与した。	R2.11	R3.5
36	学校保健特別対策事業費補 助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開等に伴う感染予防のための消耗品や、感染予防のため休校時の学習保障に係る環境整備への備品を購入する。 ②保健衛生用品、備品の購入 ③保健衛生用品(非接触体温計、アルコールディスペンサー、フェイスシールド、防護服他)1,605,000円 備品(遠隔授業対応用ICT機器、校内テレビ放送用変調器、サーキュレーター他)4,745,000円 計6,350,000円 ④町立小中学校5校	5,218,270	2,520,000	2,609,000			89,270	学校再開等に伴う感染予防のための消耗品や、感染予防のため休校時の学習保障に係る環境を整備した。	学校生活環境における感染予防及び拡大防止に寄与した。	R2.9	R3.3
37	室内の喚起を図るための網戸 設置工事	①施設における感染拡大防止を図るため、網戸を設置し換気する。 ②網戸の設置 ③大寺公66,000円、相模公874,000円、東部公550,000円、北部公43,000円 計1,533,000円 ④公民館4施設	1,494,900	1,430,000				64,900	公民館利用者の感染予防対策として、町立公民館4館に網戸を設置した。	公民館内の換気を徹底し、感染拡大防止に寄与した。	R3.3	R3.3
38	非接触式電子温度計購入事 業	①公民館等利用者の感染拡大防止のため ②非接触型体温計の購入費用 ③7,700円×12台=92,400円 ④公民館・コミュニティセンター等 12施設	92,400	90,000				2,400	公民館等利用者の感染予防対策として、非接触型電子温度計を12台購入した。	公民館等利用者の体温管理を徹底し、感染拡大防止に寄与した。	R2.11	R2.11
39	収納環境緊急整備事業	①町税等の納付にあたり、脱現金化及び非対面化を図るため、スマホ決済の導入と合わせ、人と人との接触機会の低減、収納時間・窓口の分散化を図るため、コンビニ収納の導入を図る。 ②スマホ決済(コンビニ収納)導入 システム契約料、導入経費 ③4,437,000円(システム導入作業及びスマホ決済対応4,272,000円、LG WAN接続初期費用165,000円) ④納税義務者	4,436,696	4,310,000				126,696	令和3年4月から、軽自動車税(種別割)・固定資産税・町県民税普通徴収・国民健康保険税普通徴収を対象としたコンビニ収納・スマホ決済を導入した。	令和3年度会計において、7,901件・100,008,800円(うちスマホ決済413件・5,486,200円)の収納実績があり、人と人との接触機会の低減や収納時間・窓口の分散化が図られた。	R2.10	R3.3
40	「新・生活様式」CO2削減推 進(空調設備等更新支援)事 業	①「新しい生活様式」への移行で増加が予想されるエネルギー使用量の削減に取り組む中小事業者に対し、空調設備の更新等の導入補助を行う。 ②補助金(設備の導入費、材料費、労務費、設計費等) ③上限額933,000円×1事業者=933,000円 ④町内中小事業者	933,000	910,000				23,000	「新しい生活様式」への移行で増加が予想されるエネルギー使用量の削減に取り組む1中中小事業者に対し、空調設備の更新等の導入補助を行った。	エネルギー使用量の削減及び感染拡大防止に寄与した。	R2.10	R2.12

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期	
41	社会的な環境整備(行政IT化)行政手続きの電子処理支援事業	①緊急事態宣言等により、参集が困難時における各種委員会・全員協議会等のWeb会議開催が可能となる。また、メールによる通知伝達及び議案等の書類送付をすることにより、接触機会の低減が期待できるためパソコンを購入する。 ②パソコン一式に係る経費を交付対象とし、インターネット環境については議員が負担する。 ③・ノート型パソコン 13台 × 82,500円 = 1,072,500円 ・マウス 13個 × 1,430円 = 18,590円 ・ヘッドセット 13個 × 3,850円 = 50,050円 ・ウイルスバスター 5個 × 14,740円 = 73,700円 ・パソコンバッグ 13個 × 3,850円 = 50,050円 ・パソコン設定料 13台 × 22,000円 = 286,000円 ・パソコン自宅設定料 11台 × 15,868円 = 174,542円 (計 1,725,432円) ④山辺町議会議員 11台 事務局2台	1,725,432	1,660,000					65,432	議会のIT環境を整備し、緊急事態宣言等の参集困難時に各種委員会等のWEB会議開催を可能とするため、議員、事務局分計13台のノート型パソコン一式を購入した。	パソコンを導入したことによりIT環境が整備され、会議の通知や資料等をメールで送付することで接触機会の低減が図られ、感染拡大防止に寄与した。	R2.12	R3.3
42	役場本庁舎内Web会議等環境整備事業	①新型コロナウイルスの影響により増加しているWeb会議に対応するため、役場本庁舎内の会議室等にWi-Fi環境を整備するとともに、Web会議に対応可能なカメラ付きパソコンを購入する。 ②経費内容・③積算根拠 ▼Web会議環境整備 ・Web会議用Wi-Fi環境整備箇所(会議室等6カ所) 1,538,200円 × 1.1 = 1,692,020円 ※工事材料・物品、作業費 ・カメラ付きパソコン購入(特別職・管理職・事務局 15台) 1,125,000円 × 1.1 = 1,237,500円 ※パソコン、設定費 ▼公衆用Wi-Fi環境整備 ・公衆用Wi-Fi環境整備箇所(ロビー1カ所) 418,800円 × 1.1 = 460,680円 ※工事材料・物品、作業費 ▼共通経費 図書作成費・現場管理費・一般管理費 406,000円 × 1.1 = 446,600円 ④役場本庁舎の利用者及び職員	3,836,800	3,720,000					116,800	●山辺町役場本庁舎内Web会議等環境構築業務委託(2,599,300円) ▽公衆用Wi-Fi整備(AP1台) ・1F:ロビー(AP1台) ▽業務用Wi-Fi整備(6室・AP6台) ・2F:正庁、会議室(AP各1台 計2台) ・3F:委員会室(1)、委員会室(2)、委員会室(3)、大・小会議室(AP各1台 計4台) ●カメラ付きノートパソコン購入(1,237,500円) ▽Wi-Fi接続によるWeb会議に対応可能なカメラ付きノートパソコン購入(15台) ・特別職3台、管理職10台、事務局2台	役場本庁舎内の会議室等にWi-Fi環境を整備するとともに、カメラ付きパソコンを導入することで、感染対策として開催されるWeb会議への対応が広がり、感染拡大防止に寄与した。	R2.12	R3.3
43	公共施設のWi-Fi環境整備事業	①日常、非接触情報収集拡大として公共施設Wi-Fi新設、また、3密を回避して避難部屋以外で公衆用Wi-Fiを利用できる環境づくりとし、各公共施設にWi-Fi環境を整備する。(副次的に、本庁舎以外でのWeb会議や、インターネット回線での業務に限られるが、分散出勤にも対応可能となる。) ②経費内容・③積算根拠 ▼役場本庁舎と同じ回線の5施設(支所、中央公民館等) ・アクセスポイント9台(支所各1台、中央公民館3台、保健福祉センター・町民体育館各2台)、ルーター・スイッチ・ハブ各1台 4,055,000円 × 1.1 = 4,460,500円 ※工事材料・物品、作業費 ▼独自回線の7施設(6公民館、緑ヶ丘コミュニティセンター) ・アクセスポイント7台(各1台)、スイッチ各1台 2,324,000円 × 1.1 = 2,556,400円 ※工事材料・物品、作業費 ▼共通経費 図書作成費・現場管理費・一般管理費 1,001,000円 × 1.1 = 1,101,100円 ④施設利用者及び職員(中支所、作谷沢支所、中央公民館、保健福祉センター、町民総合体育館ノ大寺・相模・近江・山辺東部・山辺南部・山辺北部公民館、緑ヶ丘コミュニティセンター)	8,118,000	7,920,000					198,000	●山辺町公共施設Wi-Fi環境構築業務委託 ▽公衆用Wi-Fi整備(12施設・1Fロビー、AP16台) ・中、作谷沢支所(AP各1台 計2台) ・中央公民館(AP3台 ※うち1台は2F教育相談室) ・保健福祉センター(AP2台) ・町民総合体育館(AP2台) ・大寺、相模、近江、山辺東部、山辺南部、山辺北部公民館(AP各1台 計6台) ・緑ヶ丘コミュニティセンター(AP1台)	公共施設へフリーWi-Fi環境を整備したことにより、施設利用時をはじめ、災害避難時の3密回避が容易になり、感染拡大防止に寄与した。	R2.12	R3.3
44	感染症対策のための保育所設備整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、保育所設備等の改修を行い、新たな生活様式に対応した環境の下で入所児童の保育所内での安全を確保する。 ②空調設備・網戸の整備、保育室等床の抗菌塗装と抗菌フローリングへの改修及び抗菌機・抗菌椅子の購入、水道の自動水栓化等 ③・遊戯室、ほふく室、子育て支援センターの空調設備整備 エアコン改修4台及び換気扇設置5台 9,020,000円 ・床等改修工事 8,613,000円 各部屋の網戸設置 19カ所 3歳以上児保育室と廊下の抗菌コーティング塗装 約500㎡ 3歳未満児保育室の抗菌フローリングへの改修(畳、カーペットから抗菌フローリングへ) 約240㎡ 抗菌カーテン(制菌、防炎、遮光仕様) 10室 ・3歳未満児用抗菌機椅子購入 744,730円 抗菌機9台 椅子46脚 ・水道の自動水栓化等(蛇口の接触対策) 自動水栓8カ所 シングルレバー交換11カ所 354,200円 ④安達峰一郎記念保育所	18,731,930	18,300,000					431,930	感染症対策として、保育所内の各保育室等床の抗菌フローリングへの改修と、エアコン改修及び換気扇の設置、網戸設置、抗菌カーテン、抗菌機と椅子の購入、水道の自動水栓化のためシングルレバーに交換した。	保育所内の設備等の改修を行ったことで、新型コロナウイルス感染拡大防止と子どもたちの安全を確保することができた。	R2.11	R3.3

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期
45	新型コロナ対策商品券配布事業	①新型コロナウイルスの感染拡大を受け、町民の生活支援と地域経済活性化対策として、商品券3,000円分を全町民へ配布する。 ②商品券配布に係る事業費・事務費 ③消耗品費51,810円、印刷製本費(窓付き封筒)73,920円、通信運搬費(配布用郵送及び再通知はがき)1,887,669円 商品券配布事業補助金42,597,907円 【補助金内訳】 商品券代:3,000円×14,014セット×換金率98%=41,201,160円 商品券印刷費:36.9円×14,110セット×1.10=572,724円 事務経費(換金額の2%):41,201,160円×2%=824,023円(上限) ④町民及び町内事業者(商工会会員)	44,296,175	43,360,000				936,175	コロナ禍における町民の生活支援と地域経済活性化対策として、商品券を全町民へ配布した。	町民の生活を支援するとともに、停滞している町内の消費需要を喚起し、地域経済の活性化が図られた。	R2.9	R3.2
46	新生児特別定額給付金	①国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子どもを対象に、新生児ひとりにつき10万円を支給する。 ②給付金、通信運搬費 ③【給付金】7,000千円(70人×100,000円) ④【通信運搬費】10千円(110通×84円=10千円) ⑤令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した対象児童を監護し、生計を同じくする方	5,504,961	2,640,000		2,777,500		87,461	国の特別定額給付金の基準日を過ぎて出生した子ども55人を対象として、一人あたり100,000円を支給した。	新型コロナウイルス感染症による経済対策の一つである特別定額給付金の基準日を過ぎて出生した子どもまで対象を拡大することによりより多くの世帯の生活支援に寄与した。	R2.10	R3.3
47	避難所衛生指導物品購入事業	①被災者の避難所での生活において、感染症の発生や感染拡大を防止するため衛生巡回指導するにあたり、いち早く対応できるよう必要物品を整備する。また、衛生環境対策としての備蓄対応。 ②消耗品費 ③【感染症対策巡回指導用一式】計495,000円 ・感染症対策用衛生用品(アルコール、マスクなど)258,300円 ・健康チェック等にかかる用品(腋窩体温計、自動血圧計、聴診器など)236,700円 【衛生環境対策備蓄一式】計220,000円 ・防護服、手指衛生等消毒薬、体温計、消耗品等 総計715,000円 ④—	708,871	680,000				28,871	被災者の避難所での生活において、感染症の発生や感染拡大を防止するため衛生巡回指導するにあたり、いち早く対応できるよう必要物品を整備した。また、合わせて衛生環境対策としての備蓄分も整備した。	避難所で必要な感染症対策物品が整備されたことで、災害時において感染症対策が早期に講じられることが期待される。	R2.9	R3.3
48	民生委員等に対する県産布製マスクの配布事業	①民生委員・児童委員及び福祉推進員に対し、各家庭訪問の際の新型コロナウイルス感染症予防対策として、町内事業者が作成した布マスクを配布する。 ②消耗品費 ③@500円×155枚=77,500円 ④民生委員36名、福祉推進員119名	77,500	70,000				7,500	民生委員・児童委員及び福祉推進員に対し、各家庭訪問の際の新型コロナウイルス感染症予防対策として、障がい者自立支援センター「あおぞら」が作成した布マスクを配布した。 @500円×155枚=77,500円 (内訳:民生委員36名、福祉推進員119名)	民生委員・児童委員及び福祉推進員が行う訪問や相談等を、新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら、コロナ禍の中でも中断することなく、継続して実施することができた。	R2.9	R2.11
49	山形県商工業振興資金融資制度利子補給	①新型コロナの影響を受けた事業者の経営支援 ②利子補給金 ③実績各金融機関申請書による。借入10年うち2年据置(町0.5%・県0.5%)。令和2年度基金積立額(R2年度～R7年度)24,976千円 ④小規模事業者等	24,976,000	19,980,000				4,996,000	県商工業振興資金融資に係る事業者への利子補給に充当する原資として基金を造成した。	事業者支援に係る財源確保が図られた。	R2.8	R3.2
50	山形県商工業振興資金融資制度保証料補給	①新型コロナの影響を受けた事業者の経営支援 ②保証料補給金 ③見込み借入額11億円70件。保証協会のシュミレーションによる。借入10年うち2年据置0.8%(町0.34%・県0.46%)で積算。令和2年度基金積立額(R2年度～R7年度)18,283千円 ④小規模事業者等	18,283,000	14,626,000				3,657,000	県商工業振興資金融資に係る事業者への保証料補給に充当する原資として基金を造成した。	事業者支援に係る財源確保が図られた。	R2.8	R3.3
51	山形県緊急地域経済対策協議会負担金	①県緊急経済対策協議会に係る実施協力 ②負担金 ③240千円×1 ④山形県緊急地域経済対策協議会	240,000	230,000				10,000	県緊急地域経済対策協議会(県商工会連合会内)の各事業における基金造成について負担金を拠出した。	基金を活用した商店街等の消費喚起策を支援した。	R2.5	R2.5
52	住宅建設等支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による住宅投資の落ち込みを抑える。 ②県産木材を使用した住宅を新築する場合、戸当たり100万円を支給(申請0件) ③新・生活様式に対応したリフォーム工事を実施する場合、工事費の1/2(上限20万円)を支給。 ④リフォーム工事 申請10件 1,409千円 うち県補助703千円(1/2補助) ⑤町内在住で町内にある住宅を新築もしくはリフォームする者。	1,409,000	690,000		703,000		16,000	新型コロナウイルス感染症対策としてリフォーム工事を行う町内世帯へ補助金を交付した。	町内の経済の活性化に寄与した。また町民の「新生活様式」に対応した住まいづくりへの意識啓発に繋がった。	R2.11	R3.3

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果・評価

No	事業名	事業計画・概要	総事業費	臨時交付金 充当額	国	県	起債	一般財源	実施状況	効果・評価	事業始期	事業終期	
53	山辺町広報紙への新型コロナウイルス関連記事掲載事業	①新型コロナウイルスに関連した注意喚起情報や生活・経済支援といった補助制度などを町広報紙へ記事として掲載し、Withコロナ時代に欠かせない生活情報などを、漏れなく、効果的に発信するため。 ②広報紙の印刷・製本に要する業務委託料に充当 ③令和2年度発行の広報紙(令和2年4月15日号～令和3年4月1日号)について、記事掲載サイズに基づくページ数に、契約単価(▼15日号:2色2.67円、4色4.40円 ▼1日号:1色3.24円)と発行部数(▼15日号:5,000部 ▼1日号:4,900部)を乗じて算出する。 ※8月15日までの発行実績に基づく金額293,317円+今後の掲載見込に基づく金額10万円程度≒400,000円 ④配布先の町民、関係機関、事業所等	480,107	470,000					10,107	▽対象となる広報紙: R2.4.15号～R3.4.1号 ▽対象記事: 新型コロナウイルスの感染予防・支援策、行事等への影響などに関する記事の全体又は一部(記事全体のうち注釈程度の範囲にとどまる部分は対象としない) ▽対象記事の範囲: ①写真・イラスト・枠などを含む。 ②頁全体が対象記事で占められる場合は、余白等も含め全面とする。 ③対象記事が連なる場合は、連続スペースとする。 ▽事業費の算出式(1記事毎) ページ数(面積割)×印刷単価×部数	新型コロナウイルスに関連した注意喚起情報、補助制度(生活・経済支援)等を町広報紙へ掲載することで、Withコロナ時代に欠かせない生活情報等を、漏れなく、効果的に発信し、感染拡大防止に寄与した。	R2.4	R3.3
54	スクールバス用車両購入事業	①小中学生の登下校時の感染症対策(3密の回避及び室内空気洗浄)の万全を図り、安心安全な運行を確保するためスクールバス用車両を増台する。 ②スクールバス用車両 ③中型バス29人乗り 1台 9,767,460円、ワゴン車7人乗り 1台 3,015,744円 (天井換気扇や空気洗浄機能を有する) ④-	12,783,204	12,782,000					1,204	遠距離通学における感染症対策の万全を図り、安心安全な運行を確保するためスクールバス用車両(中型バス1台、ワゴン車1台)を増台した。	安心安全なスクールバス運行における感染予防及び拡大防止に寄与した。	R3.1	R3.6
55	安心安全な学校生活環境維持に伴う感染症対策	①感染症対策として継続的に衛生管理(換気)を実施しており、児童生徒の学校における生活環境を維持するため、光熱水費を増額する。 ②山辺中学校光熱水費(電気・ガス)増加分 ③中学校管理事業 光熱水費 増加分:3,230,000円 ④山辺中学校	2,605,087	2,094,000					511,087	学校施設における感染症対策の実施に伴う光熱費の増加分に対応した。	学校における学校生活の環境維持に寄与した。	R3.3	R3.3
56	公共施設における感染拡大防止対策事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、施設利用者の安心安全とウイルス感染抑制へ繋げる。 ②エアコン改修工事 ③脱衣室4台、休憩室2台 4,620,000円 ④山辺温泉保養センター	3,762,000	3,650,000					112,000	感染予防対策として、山辺温泉保養センター内の脱衣室にあるエアコン4台及び休憩室にあるエアコン2台を改修した。	山辺温泉保養センター内の環境を改善し、感染拡大防止に寄与した。	R3.1	R3.3
57	地域の特産品魅力発信事業	①新型コロナウイルスの感染拡大を受け、地域を訪れないでも特産品が得られるよう、ふるさと納税の申込サイトを増設し特産品の魅力発信を行う。 ②申込サイト増設のための委託料 ③ポータルサイト立ち上げ及び事業者取材など 500,000円 ④町内事業者	495,000	480,000					15,000	新型コロナウイルスの感染拡大を受け、地域を訪れないでも特産品が得られるよう、ふるさと納税の申込サイトを増設した。特産品の魅力発信を行った。	ふるさと納税の申し込みサイトを増設したことにより、特産品の魅力発信をすることができ、申込件数の増につながった。	R3.2	R3.3
58	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充	①新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充を図るため、会計年度職員の緊急雇用を行う。 ②会計年度職員雇用に伴う経費(9月～3月) ③506,000円 ④町民及び町内事業者	506,433	490,000					16,433	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充を図るため、会計年度職員1名の緊急雇用を行った。(任期:令和2年9月18日から令和3年3月31日まで)	新型コロナウイルス感染症対応の各事業に事務補助として従事し、事業推進に寄与した。	R2.9	R3.3
合計			430,027,608	321,121,000	54,092,000	22,282,300	15,200,000	17,332,308					